

## 1 授業時数特例校制度導入の考え

### (1) 実施の目的

《めざす生徒像》 自立する子

《特例校制度導入により育成すべき資質・能力》

	知	徳	体
知的好奇心・ 探究心	・基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得 ・学習の手段としてのICT活用	・生活や社会の中でのルールやマナーの理解	・健康・安全に関する知識・技能 ・体力向上に関わる基礎的技能
表現力・発信力	・課題を見だし、根拠をもって考える力 ・学びを関連付け、深める力	・多様な考えを踏まえ、納得解を見つける力 ・自他の思いを適切に表現する力	・自らの状況を判断し、安全に行動する力 ・心身の状態を言葉で表現する力
コミュニケー ション能力	・学ぶ目的を自覚し、主体的に学習に向かう ・自己調整しながら学びを進める	・他者を尊重し、対話・協働しようとする態度 ・社会の一員として行動しようとする姿勢	・健康や安全を意識し、生活を調整する力 ・困難に向き合う粘り強さ

### (2) 解決を図る学校課題

#### ① 令和7年度 全国学力・学習状況調査

- ・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか

→「できている」 本校：18.8% 全国：27.4%

「どちらかといえば、できていない」 本校：31.3% 全国：19.2%

- ・1、2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

→「できている」 本校：18.8% 全国：23.4%

「どちらかといえば、できていない」 本校：25.0% 全国：19.0%

- ・授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると感じますか

→「できている」 本校：18.8% 全国：23.5%

「どちらかといえば、できていない」 本校：25.0% 全国：19.6%

小中一貫教育目標である「つながりの中で学びを深め、未来を拓く子の育成」を達成するために、上記課題を授業時数特例校制度において実施する総合的な学習の時間（探究的な学習）の中で解決を図る。生徒が仲間や教師、地域の方々とつながり、学びを深め、その学びが自らのキャリアプランに生かされる時間にしていきたい。そして、「学ぶ楽しさ」や「伸びる喜び」を実感でき、「自立する子」を育てていく。

### (3) 保護者・地域住民への周知

- ・ 11月18日実施の参観日・全体懇談会において、資料を配付して目的や内容など説明
- ・ 12月24日配布の学校便り12月号において掲載
- ・ 3月10日開催の学校運営協議会において、次年度の実施計画案も含めて説明し、探究活動への協力を仰いだ。

## 2 各教科等年間授業時数

上段…学校教育法施行規則に定める標準授業時数 下段…変更後の授業時数 (授業時数の増減)

学年		第1学年	第2学年	第3学年
各教科の授業時数	国語	140 136 (-4)	140 136 (-4)	105 103 (-2)
	社会	105 102 (-3)	105 102 (-3)	140 136 (-4)
	数学	140 137 (-3)	105 102 (-3)	140 137 (-3)
	理科	105 104 (-1)	140 137 (-3)	140 137 (-3)
	音楽	45 44 (-1)	35	35
	美術	45	35	35
	保健体育	105 101 (-4)	105 101 (-4)	105 101 (-4)
	技術・家庭	70	70	35
	外国語	140 135 (-5)	140 136 (-4)	140 135 (-5)
	特別な教科である道徳の授業時数	35	35	35
総合的な学習の時間の授業時数	50 66 (+16)	70 86 (+16)	70 86 (+16)	
特別活動の授業時数	35 40 (+5)	35 40 (+5)	35 40 (+5)	
<b>合計</b>	<b>1015</b>	<b>1015</b>	<b>1015</b>	
学校行事	60	66	67	
生徒会活動	7	7	7	

第1学年の余剰を含めた総授業時数 [1059時間] 余剰時数 [44時間]

第2学年の余剰を含めた総授業時数 [1052時間] 余剰時数 [37時間]

第3学年の余剰を含めた総授業時数 [1027時間] 余剰時数 [12時間]